

## 2025年度「オハナハウス」地域連携推進会議 記録（要旨）

日時 2025年11月18日(火)13時～15時

会場 オハナハウス リビング内

出席者

1		さいたま市聴覚障害者協会
2		さいたま市手話通訳問題研究会
3	委員	さいたま市手話サークル連絡協議会
4		春里どんぐりの家家族会
5		オハナハウス 仲間代表2名
6		オハナハウス ホーム長
7	事務局	オハナハウス サービス管理責任者
8		春里どんぐりの家 主任

1. マハナハウス見学
2. オハナハウス見学
3. 推進会議

○オハナハウスの設立経過、経営状況、BCPの内容を説明

○質疑応答・意見交換

### 1. 生活および支援体制について

- ・外出・余暇：職員体制が2名確保できる際は買い物等の外出を行っているが、1名体制時は困難。
- ・飲酒：禁止ルールはないが、医師の指導や加齢による体力低下により、自主的に控えている利用者が多い。
- ・入浴：重度（区分5・6）の利用者も多いが、毎日入浴を実施。自立度に応じ、全介助・一部介助・見守りを行うほか、週3回デイサービスでの入浴も併用している。

### 2. 地域・自治会との関係

- ・関係性：コロナ前は行事や清掃活動に参加し、ホーム長が自治会長を頼まれるなど関係は概ね良好。
- ・懸念事項：近隣への「騒音」による迷惑行為が多々発生している。また、敷地内の植栽（木）が隣家に伸びているとの指摘があり、剪定の対応が必要。

### 3. 職員体制と安全管理の課題

- ・夜間体制：現在は夜間1名体制。家族会より「防災・事故対応」の面で強い懸

念が出ている。

- ・人員配置のジレンマ：夜間を2名にすると日中の配置が手薄になること、また国の報酬制度上の予算的限界があり、即時の増員は困難。制度改正を働きかけつつ検討する。
- ・職員間の連携：悩みやトラブルは職員同士で相談し合っている。

#### 4. 仲間の状況と対応

- ・コミュニケーションとトラブル：仲間の自立度の高い「マハナ」の方が仲間同士のトラブルが多い。仲間の障害が重度の「オハナ」では他害（押す・つねる）があるが、後に引かないケースが多い。
- ・退所について：近隣への迷惑行為（騒音・他害）が施設、職員の対応能力を超えた場合、大きな入所施設へ転居することがあった。
- ・仲間の要望：「墓参りに行きたい」「金銭管理（使途不明金）を手伝ってほしい」「職員の手伝いをしたい」などの要望が出ており、個別に対応していく。

#### 5. 全体的な評価

家族や協会からは、「施設が清潔である」「職員が熱心に支援している」「利用者のコミュニケーション力が向上している」といった肯定的な評価が得られた。